2022,12,21

図書館だより

水沢高校図書館 No.11

SHEIN に行ってみた

東京ディズニーランド

東京ディズニーランドに初めて行ったの は、高校2年生の7月だった。ディズニーラン ドはこの年の4月に開園したばかりだったの で、行った人は周りにまだいなかった。

ひとりで行った。これを話すと、「ディズニ ーランドにひとりでですか?」とたいていい われるが、一緒にいく相手もなかったし、そも そもひとりの方が気楽なので、ディズニーラ ンドに限らずひとりが多い。

どこかへ行くとか、旅行をするとかには、そ こに至る手段や行程も楽しみたい。

今でも東京へ行くのに、新幹線を使わず 東北本線の普通列車を乗り継いで行ったり、 仙台から常磐線の特急「ひたち」に乗ったり することがある。

この時は飛行機に乗りたかった。B727。3 発リア・エンジンとT字型尾翼、スリムでスマ ートなボディーの飛行機である。セクシーで もある。東北新幹線はすでに開業し、花巻~ 羽田はなくなっていたが、仙台~羽田便はま だあった。



B727-200

インターネットのない時代、時刻表を見て 路線と時刻と機種を選び、旅行会社でチケッ トを取った。当日は仙台まで在来線、仙台空 港まではシャトルバス、飛行機の座席指定は 空港カウンターでしかできなく、窓側席を取 りたかったので、早めに空港に行った。

搭乗手続きも、マックスパワーで滑走する ときの胸にかかるGの感覚も、空からの眺め もすべてワクワクだったが、仙台から羽田は4

ディズニーランドは小雨だった。そのため か空いていた。当時は「パスポート」チケット はなく、「BIG10」というチケットだった。これ は、アトラクションにより、A 券から E 券まで チケットがあり、それが10枚セットになってい るもので、ほとんど使い切り、買い物もしなが ら、閉園まで満喫した。



昔のプーさんは今のプ さんとは姿が違ってい るといわれる。そのときそ れがどうだったかは覚え ていない。

TDLに隣接するJR 京葉線舞浜駅は88年 に開業するので、それ以 前は地下鉄東西線浦安 駅が最寄り駅だった。最 寄りといっても、駅を降 りて、シャトルバス乗り場 まで5分歩き、そこから バスで5分くらいだった



ので、かなり距離があった。バス乗り場が今 どうなっているだろうと気になる。グーグルマ ップで探してみると今はマンションが並ぶ住 宅地になっているようだ。

気になる場所

この場所はどんなところだろうと気になるこ とがしばしばある。

これも同じ高校2年生のとき。『an・an』を 見ていて、「広尾」(東京都渋谷区)ってどん な街だろうと思った。「広尾の古着屋さん、雑 貨屋さん」みたいな特集記事だった。地下鉄 の広尾駅から地上に出ると、「明治屋」(高級 スーパー)があって、東京でもさほど外国人 が多くなかった当時でも、「欧米人」のような 人が多く歩いていて、他の東京の街とは違う 気がした。

『an·an』の記事をメモした紙と地図を見 ながら目的の店を探した。狭い通りに昔から 受け継いでいるようなの「地元の商店街」を 歩くのだが、小洒落た店が多い。見つけたの は、私からはちょっとお姉さん向けみたいな 品ぞろえの店だったが好みにあった。

私が大学生のころ、お好み焼き「千房」はま だ関西にしかなかった。

夢中になって聴いていたラジオ番組「鶴 瓶・新野のぬかるみの世界」を後押ししてい たのが「千房」で、番組のファンにとって「千 房」は特別な場所だった。

千房に行ってみたかった。

大阪に行ったとき、大阪市内に何店もある 中で、たまたま北新地(北区)のお店にいっ た。とてもムーディーだった。高級肉を目の前 で鉄板焼きにして出すようなカウンター席も あり、メニューに書かれている値段は高かっ た。お好み焼きをお店で食べたことがなかっ たので、こういうものかと訝しく思いながら、 最低の値段のお好み焼きを頼んだ。

後になって千房にはいくつかのお店のラン クがあると知った。そのお店は「ぷれじでんと 千房」というハイクラスのお店で、「北新地」 という立地も東京なら「銀座」のような高級飲 食街に相当する場所だった。

横浜ランドマークタワーも恵比寿ガーデン プレイスもワイルドブルーヨコハマも、新しい 話題の場所にはすぐ行った。

ラフォーレ原宿によく行った話をすると、娘 は「お父さんのカラーじゃない」という。

事件現場とビール工場

娘が小学生のころ、「歴史の場所に行って みよう」という企画を親子でやったことがあ

「生麦ってどんなところだろう?」とつぶや いたら、娘も「気になってた」「行ってみたい」 という。歴史の本で生麦事件が取り上げられ るとき、街道沿いに大木が1本ある写真が事 件の現場として掲載されるが、その場所がど んなところか気になっていた。

横浜市鶴見区生麦。1862 年、薩摩藩主 の行列に遭遇した騎馬のイギリス人を供回り の藩士たちが殺傷した事件で、これが薩英戦 争に発展する。その現場である。



生麦事件の現場

江戸時代ではないので、当然ながら写真 にあるような畑は周囲にない。戸建て住宅が 立ち並び、旧道と並行して首都高速が走って いる。住宅と住宅の狭間に「生麦事件碑」が あるだけだった。しかし、小さな石碑だが、こ こから薩英戦争が始まることを想うと感慨深 いし、もっと想像を広げると、薩英戦争も下 関戦争も、いまなら鹿児島県とイギリスの戦 争だし、山口県とイギリス・フランス・オラン ダ・アメリカの戦争なので、そのスケールは想 像を絶する。いろんなことを親子で考えた。

「歴史の場所にいってみよう」のこれは2回 目。1回目は「桜田門外の変」だった。

娘は大学生になり、今はひとりで似たよう なことをやっている。

ぼちぼち歩いていたら、キリンビール横浜 工場があった。工場見学ができるというの で、ついでに見学し、出口の PR エリアでふ るまわれたビールとジュースをいただいた。 私はお酒に弱いので、ほんの一杯だったが、 飲み会帰りみたいになった。

そして、ここは「生麦」にちなんで建てた工 場ではないらしい。

(裏面につづく)

一億総白痴

グーグルマップでも町の様子は見られる。 3年生は、新生活の準備もはじまるが、賃貸物件サイトでは部屋の様子を 3D カメラで見られたりする。「外国のお客様は来日しないまま購入を決めることがありますよ」三菱地所の方はおっしゃっていた。

アマゾンからメルカリまで、そして、電化製品、自動車…衣服、ネット購入が日常になった。

ネットスーパーは、重いものも持ち帰らず に済むのでたまに利用する。注文したお肉が 品切れなのでと、それより上質なものが同じ 値段で配達されることもあり、それはうれし い

それはそれとして…私は買い物にリアルが 欲しい。時間と手間と経費と神経を使って も、お店に行って商品に触れたい。実物を見 ながら迷うのは楽しいし、百貨店なりスーパ ーなり、音や匂い、雑踏のざわめき、そんな 買い物の空間が好きだ。

家にいながら何でもできる。世界中の情報 も商品もインターネットを通して自由に手に 入る。そして、すべてがわかる気になってい る。

それなら、インターネットは私たちの「世界」 を「広くした」のか「狭くした」のか? 「テレビの登場で日本人は総白痴化する」と小学校の担任からいわれていた。「白痴化」とは「バカになる」ということ。「テレビというメディアは非常に低俗で、テレビばかり見ていると人間の想像力や思考力を低下させてしまう」と説明された。これが、昭和を代表する社会批評家 大宅壮一(おおやそういち)が1957年に述べたことばだったことは大人になってから知った。

余談だが、この担任は、小学生の私たちに さまざまなことを教えてくれた。「祇園の芸妓 の方が先斗町より格が高い」と教えてくれた のも、この先生である。

SHEIN

SHEIN に行ってみた。

「SHEIN」も「coca」もアルファベットは見 分けがつかない同輩が多いが、私はわかっ ていることをとりあえず話しておこう。

これも、お店の大きさ、品ぞろえ、商品の質感、話題性が気になった。

開店時は 150 人以上が行列を作ったと報道された。「オンラインストア上でしか商品を見ることができなかったので、実物を見られるのは嬉しい」という客のコメントもそこにあった。

20人ほどが並んでいて、私は5分で入る ことができた。

思ったより品数が少なくがっかりした。サイ

トには、無限に商品があるのにと残念だった。 ここにいる人、みな思ってないだろうか? これも行ってみてわかることである。

(佐藤貴之)



SHEIN (撮影 佐藤)

大宅壮一のことば

大宅壮一 著 大宅映子 編 KADOKAWA

時代の風潮を見事に裁断する独特の社会 批評を展開し広くマスコミで活躍したのが大 宅壮一である。それは、時代が移ってもいま だ錆びることがない。また、「口コミ」「恐妻家」 などの新語をつくってきたことでも知られて

来るべき未来を予見し、時代が移っても人の営みの本質は変わらないことを鋭く衝いてきた大宅壮一だが、この本は「一億総白痴化時代」などの強烈なことばを、その前後の文脈をきちんと紹介しながら、その魅力を伝えている。

さらに、日本人は自分の意見を持たず、大 勢に流されると批判してきた娘の大宅映子 (評論家)がこれを解説、寸評する。



今年度購入図書 おすすめの本

地球の歩き方 ジョジョの奇妙な冒険

地球の歩き方編集室 地球の歩き方

人気漫画『ジョジョの奇妙な冒険』と『地球の歩き方』がスペシャルコラボ。物語の舞台を網羅した最高に奇妙な冒険ガイドブック誕

ジョジョの奇妙な冒険』の35周年を記念して、杜王町から世界各地に至るまで、第1部~第8部の舞台を地球の歩き方が徹底紹介!荒木飛呂彦先生の「旅」にまつわるロングインタビューも掲載。



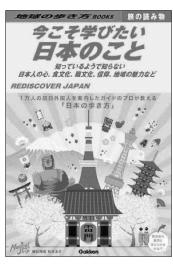
地球の歩き方

今こそ学びたい日本のこと

地球の歩き方編集室地球の歩き方

あなたは、日本のことをどのくらい知って いますか?

この国の文化や歴史、習慣について世界 の人々に説明することができますか?



感想や投稿も受け付けます。冬休みを利用し、あなたも文章を書いてみませんか?

本のことを中心に、気まま、勝手に書いてきましたが、年内はこれが最終号です。

よいお年をお迎えください!